

問

新たな国の米対策と市の対応は

国では30年度から米の生産調整を廃止し、国全体で生産数量目安として735万トンを提示した。これを受けて市の生産数量の目安は、また各農家に対しての配分方法は、国の助成、市独自の助成措置の今後は。

答

市単独転作奨励補助事業は段階的に廃止

市の生産数量目安は、前年並の2,300トで、市地域農業再生協議会から各生産者に対し一律59.4%の目安を示す。今後、国の水田活用直接支払交付金などは継続していく。市単独転作奨励補助事業は段階的に廃止し、他の農業振興策に振り向けていきたい。



大高 馨 議員
(白新会)



議員研修報告

全議員で

生涯学習施設

「こもれびの森」

を視察



3月定例会最終日、全議員で市役所の西側にある生涯学習施設「こもれびの森」の建設現場を視察しました。

現在施設は、外装工事がおおむね終了し、内装工事を実施しているところです。天井には、空調設備などのダクト類や天板も設置されてきており、天井の様子徐徐に形になってきていました。また、各部屋の仕切りも設置が進んでおり、事務室、会議室、音楽スタジオや創作室の広さも分かりました。

今後は、図書館の書棚の設置、多目的ホールには、移動観覧席や壁収納ステージも設置され、内装が仕上がっていきます。また、外構工事も進められます。

10月1日の開館が期待されるところです。



議員研修風景